

令和 2 年 12 月 25 日  
国土交通省 関東地方整備局  
関東運輸局

記者発表資料

～京浜港物流高度化推進協議会～

「第15回物流効率化に関する荷主意見交換会」を開催しました

京浜港物流高度化推進協議会(委員長:中田信哉神奈川大学名誉教授、事務局:関東地方整備局、関東運輸局)は、学識経験者及び京浜港に関係する事業者団体、行政の関係者等により構成し、京浜港の競争力強化や背後圏での物流の高度化に向けた課題解決を図るための様々な取組を行っています。

同協議会における活動の一環として、京浜港における物流の効率化・高度化に向けた取組を効果的に進めるべく、国際海上コンテナ輸送を利用する荷主企業との意見交換会を平成 19 年より実施してきております。

この度、令和 2 年 12 月 16 日(水)に、15 回目となる意見交換会を、十分なコロナ感染症対策のもと、パシフィコ横浜で開催いたしました。荷主企業 7 社(オンライン参加含む)及び東京都、川崎市、横浜市、横浜川崎国際港湾株式会社にご参加頂き、「港湾情報の電子化、ヒトを支援する AI ターミナルの実現」、「港湾の混雑対策」などをテーマに意見交換を実施しました。

意見交換では、京浜港における物流の効率化・高度化の取り組みについて、荷主企業よりユーズ視点からの多くの貴重なご意見が出されました。

意見交換会の詳細については別添をご覧ください。

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ・神奈川建設記者会・横浜海事記者クラブ・物流専門紙・その他専門紙

問い合わせ先

関東地方整備局 港湾空港部

港湾高度利用調整官 笠井 良真

クルーズ振興・港湾物流企画室

室長 大野 勉

課長補佐 林 智樹

電話 045-211-7437 FAX 045-211-0204

**京浜港物流高度化推進協議会**  
**「第15回物流効率化に関する荷主意見交換会」開催結果**

■開催日時 令和2年12月16日(水) 14:00~16:20

■開催場所 パシフィコ横浜ノース303、304

■参加者

・荷主企業（五十音順）

いすゞ自動車株式会社、株式会社イワクラ(※)、キヤノン株式会社、コマツ(※)、  
双日ロジスティクス株式会社、DCM ホールディングス株式会社(※)、  
日産自動車株式会社の計7社（※オンライン参加）

・国、港湾管理者等

関東運輸局交通政策部、関東地方整備局港湾空港部  
東京都港湾局、川崎市港湾局、横浜市港湾局  
横浜川崎国際港湾株式会社

■荷主企業からの主なご意見

1. 港湾関連データ連携基盤・CONPAS

○港湾関連データ連携基盤連携・受入のトライアルについては是非参加を検討したい。

○繁忙期は、混雑等でトラックが回らなくなり、困っていたので、CONPAS 導入効果に対する期待は高い。

○CONPAS の試験運用について、ドレージ会社から効果があったと聞いているので、京浜三港には必ず横展開してほしい。弊社も協力していく心づもり。

○自社で車両位置情報の技術(コネクテッド)を有しており、連携できれば、より効率的に利用できるのでは、協力できることがあればと考えている。

2. 国際コンテナ戦略港湾

○船社はコスト・物量で日本を重視しなくなっている。直航便がなくなれば、コストが上がると思っている。荷主としては戦略港湾施策に大きく期待するとともに、これにより、ある程度の中で競争できる地位に残してほしい。荷主側の意識改革も必要だが、関東では京浜三港の連携がないと、港の競争力自体がなくなり、荷主が今後世界と戦っていくのは難しい。

○今年度、15社の荷主連合という形で、常陸那珂～京浜間のフィーダー輸送に関する社会実験を行う予定。これについては、常陸那珂港振興協会の助成事業に申請する予定。モーダルシフトの観点からも、来年度以降、本格的に継続したく、国のモーダルシフト関連の補助制度を活用したい。

○内航船を有効に活用するためにも、内航船バースの確保を検討している。内航船が後回しにされている現状を改善したい。

3. 内陸輸送その他

○鉄道輸送は、多くの荷主が期待している。トラックやバージでのみでは難しい中で、鉄道輸送を活用することで本当の意味での戦略港湾になっていくのではないかと。また、ハイキューブのコンテナや各鉄道コンテナターミナルでの海上コンテナの扱いについて、使える範囲を局地的にでも少しずつ進めてもらいたい。

○45ft コンテナを積極的に活用したい。一般公道等で走行できるように認めてもらえれば車両台数削減、物流の効率化につながる。併せて、専用シャーシなどの投資

があれば、固定資産税の税制上の優遇等の支援があるとありがたい。

○コンテナラウンドユースも CO2 削減や人手不足対応の有効な手段と考えており活用したいが、船社、ドレージ会社、バンニングのタイミングなどが合わず、参加荷主が集まらない。京浜地区でうまくやっている事例や、インランドデポの運営での好事例があれば教えて欲しい。

○港湾における危険物の取扱場所(ターミナルや倉庫施設)がなくて苦労している。



【意見交換会の開催状況】